



ひょうご安全の日推進事業
「災害時における船舶活用と医療福祉支援」
フェリーさんふらわあ ぱーる
船内見学会・意見交換会
災害時医療支援船構想推進協議会
キックオフミーティング
(12:30~14:30)
平成25年3月3日(日)
11:00 乗船見学開始~14:30 下船解散
場所：神戸港六甲フェリーターミナル（六甲アイランド）



2013. 0

災害時医療支援船構想推進協議会がキック

平成24年1月29日に災害時医療支援船構想推進協議会の発足を宣言して以来、一年が経過しました。この間、協議会の趣旨に賛同し会員として登録した団体はおよそ30団体に、国・自治体の協力関係官庁はおよそ10組織に達しました。

平成25年3月3日、多くの支援団体による組織化が整ったことから、患者、医師、薬剤師、看護師、福祉、介護関係者、海事関係者、ならびに自治体・国の行政関係者の参加により、フェリー“さんふらわあ ぱーる”の船上において災害時医療支援船構想推進協議会のキックオフセレモニーが行われました。

また、参加者がこの催しを通じて実際の船に接することにより、災害時医療支援船構想の取り組みについて具体的なイメージを持つとともに、「災害時における船舶活用と医療福祉支援」

のあり方について意見交換することにより、災害時医療支援船構想推進協議会がめざすゴールの社会認知、行政理解をよりいっそう促進する機会とするため、船内見学会ならびに船内意見交換会を実施しました。

当日は、130名の会員が参加し、会長 井上欣三（神戸大学名誉教授）、副会長 川島龍一（兵庫県医師会会長）、副会長 宮本 孝（兵庫県透析医会前会長）、事務局 兵庫県医師会、兵庫県難病団体連絡協議会とする組織体制が承認されました。

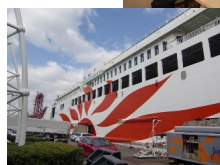
今後は、キャリーシップ検討委員会（患者さんの海上搬送、支援物資等の輸送を中心とする船の輸送機能を活用した活動）、ホテルシップ検討委員会（避難所がいつまでも体育館でいいのだろうかという反省から、船が避難所または宿泊場所を提供して少しでもよい環境で災害関連死から人の命を救おうという船の生活機能を活用した活動）、ドクターシップ検討委員会（船上の避難所や宿泊所で可能な医療を提供する活動）の三本柱を中心とした検討部会が具体的な活動に入ることになります。

[ポスター](#)

[当日配布資料①](#)

[当日配布資料②](#)

[当日配布資料③](#)



キックオフ会場

ふえりーばー



ふえりーぱーる



乗船見学受付



来賓と名詞交換



船内見学



大部屋船室



個室船室

キックオフミーティング



医療支援船構想推進協議会がキックオフ